

産学連携の新動向

～ 産学連携学会全国大会の発表から～

2003年4月に発足した産学連携学会は2004年1月現在で会員数約400名に達し、活発な活動を行なっています。その趣旨は(1)地域産学連携活動の総合的支援、(2)産学連携業務の専門職化、(3)産学連携学の確立にあります。

さて、2003年9月に札幌市で開催された産学連携学会第1回全国大会では、会員以外の方々を含む約300名の参加のもと、各地の事例や産学連携推進上の課題と解決策の提案が発表、討議されました。その成果を広く活用していただくべく、このたび全国大会報告会を以下の要領で開催いたします。産学連携学会の会長、学術委員長が学会設立の趣旨と大会概要をご紹介し、事業委員長もまじえ参加者の皆様とフリーディスカッションを行なって、産学連携学会の今後の方向性をともに考えます。

産学連携学会の第2回全国大会は2004年6月(予定)に福岡市で開催されます。また、同時期に学会誌『産学連携学』第1号も刊行されます。産学連携ブームがおさまる一方で、地に足のついた活動はいつそう求められています。そこで本報告会では、<産学連携関係者が立場を越えて知見を持ち寄り、相互に検討を加え、知恵を共有していく仕組み>としての産学連携学会を皆様にご紹介し、ご意見を頂戴したいと思います。ふるってご参加ください。

日時：2004年2月20日(金)10時30分～12時

場所：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター、大阪市中央区大手前)5階特別会議室

<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

対象：企業関係者、大学関係者、行政関係者、産学連携関係者

出席者：湯本長伯(産学連携学会会長,九州大学教授)

西村太良(産学連携学会事業委員長,京都工芸繊維大学教授)

問合せ先：京都大学国際融合創造センター 澤田芳郎

TEL. 075-753-9155

E-mail. sawada@iic.kyoto-u.ac.jp